

学力向上プラン（令和7年9月～令和8年7月）

学校教育目標 自ら進んで学び、社会性と高い志をもった生徒の育成
 学校経営スローガン ～支え合い・認め合い・学び合い・高め合い 4つの合いで大きく前進!!～

具体的な目標

- 自分で学び方を考え、工夫することができる生徒の割合…80%以上
- 学習内容を見直し、次の学習につなげることができる生徒の割合…80%以上
- 学力調査結果における正答率 全領域で、全国、県、市の平均以上

“ポイントを絞る！！”

○基礎基本的な知識・技能

伸ばしたい力

○読解力

○協働・対話力

○主体性

学習の習慣化と基礎学力の定着のための取組

- わかる授業の実践
 - ・「個別最適な学び」「協働的な学び」を取り入れた教育活動
 - ・思考する場面、言語活動場面がある授業
また、粘り強く学習に取り組む姿勢を育む指導場面の設定
 - ・「めあて」「まとめ」が子どもに届く授業の徹底
 - ・板書計画のある授業
 - ・生徒の実態に即した指導法
 - ・ユニバーサルデザイン教育
 - ・タブレットPCの全教科・領域での活用
- 学習規律の確立
 - ・支持的風土（主体的に学習に取り組む態度）
 - ・滑石中スタンダードの共通実践
（ワンステップ挨拶・無言清掃・授業前2分間瞑想）
- 家庭学習の定着
 - ・予習・復習の習慣化
 - ・タブレットPCの持ち帰り
 - ・キュービナの活用
 - ・検定等への推奨
- モジュール学習と朝読書の実施
- 読解力向上トレーニング

教育活動の充実

- 毎月の生活アンケートの実施と迅速な対応による積極的な生徒理解の実践
- 特別支援教育の視点の取り入れ
 - ・通級指導教室の活用と支援体制の充実
 - ・不登校対策の推進
- アセスの検証と活用
- 要支援生徒への支援体制の確立と実践
- 『キャリアパスポート』の活用
- 生徒会活動や行事における主体的活動の推進

研修の充実

- 研究授業の実施
（学年職員による指導案検討）＋（近隣校からの支援）
- 評価の充実
 - ・主体的に学習に取り組む態度
 - ・個人内のよい点・進歩等（文章表現）
 - ・知識・技能 ・思考・判断・表現 の観点項目
- 職員の資質向上のための研修の実施
 - ・不祥事根絶 ・ICT 機器活用 ・特別支援教育
 - ・キャリア教育 ・生徒指導 などに関する研修
- 各種学力調査の積極的活用
- 学校評価等の積極的活用
 - ・生徒実態調査 ・学校評価 ・生活アンケートなど

◆学力調査（国・県・市）の結果から（R7年度）

〈各教科の分析結果の共通点〉

- ①長文問題や複雑な思考を要する問題に対し、粘り強く取り組む姿勢や、内発的な動機を起点として学びを広げる力を育成する必要がある。
- ②知識・技能の習得においては一定の成果が見られる。習得した知識を既有的知識と関連付け、多角的な視点から考察する力、論理的に構成し表現する力を育成する必要がある。

◆学力状況調査結果（全国学力調査における質問紙調査結果から抽出）

項目	R 6	R 7
自分で学び方を考え、工夫することができる生徒	80.9	59.8
学習内容を見直し、次の学習につなげることができる生徒	83.7	64.5